



こんにちはは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口明子 ☎047-767-5030

伊原 忠 ☎047-488-7207

飯川英樹 ☎080-1239-8132

日本共産党八千代市議団メール：kyousan@jcp-yachiyo.jp

日本共産党
八千代市議団
ホームページ

<https://jcp-yachiyo.jp>



第588号

2023年4月10日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

村上区域の21,000世帯で濁り水発生

3月6日(月)夕方、村上・勝田台地域の人達から「水道水が濁っている」「風呂の水が真っ赤だ。どうなっているのか。」という連絡が、日本共産党市議団の元に相次いでありました。すぐに市役所・上下水道局等に何度も電話をするが、回線が不通で状況がつかめないうまま、何度も電話をして、ようやく19時頃に電話がつながりました。「市民から給水車を求める声がある。収束の見込みはあるのか」との問いに「これから給水車を出す。原因がまだ不明」との答えでした。すぐに3カ所の給水所を見て回ったが、どこも列をなしていました。

しかし、村上・勝田台等の地域住民(影響世帯約数21,000)には濁り水の周知が不十分だったため、水の「濁り」に気づかずに飲んでしまった人もいます。危機管理が問われる事態です。

3月30日には高津地域でも濁り水発生

3月30日(木)、高津・高津東・大和田新田地域(影響世帯数約3,900)で配水管工事による濁り水の被害が発生しました。

連続して発生した濁り水による市民生活への影響と市に対する不信の声があがっています。

被害者への丁寧な対応と補償

村上区域での濁り水は、午前10時ごろ村上給水場の水張試験の影響で発生。その後、すぐに広報車を出したものの、防災無線での市民への広報は午後3時45分、さらに給水車の手配は、発生から9時間後の午後7時頃、応急給水拠点として3カ所に設置したというものでした。(後に4カ所)

広報車を出したり、防災無線を行っても「聞こえづらい、何を言っているかわからない」との声がありました。**フリーダイヤル(0120-970-911)**で防災無線の内容を自身で確認できる事が周知できていない事や万一の時の周知方法にもっと対策をしていく必要があると思います。

応急給水場に行けば、無料で給水袋に入った水が供給されていましたが、その事の広報も不十分で、ポリタンクを購入して給水場所に行った方も少なくありません。

市は、今回の被害者への対応として、補償の申請を3月24日から8月31日まで受け付け、水道料金の減免などを実施します。しかし、市の補償は不十分との声もあります。

被害の確認の際は丁寧に話を聞いて、市民の不利益にならない対応をすること強く求めます。

非常時・緊急時の迅速な対応を

今回、連続して発生した事故について、日本共産党がかねてより指摘してきた事「市の職員削減による技術の継承がおろそかにされている」との問題を危惧するものであります。

同時に、防災危機管理の在り方、市民への正確な情報の伝達の仕方等々(ホームページや電話にアクセスできない場合等を考慮)検証すべきです。

日本共産党は安心・安全な水の提供ができるように引き続き行政に対策・対応を求めています。



●写真:3月30日、高津東第二公園に手配された給水車